

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第9章 その他の疾病対策等

第3節 アレルギー疾患

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康増進課

1 課題に対する平成25年度の実績

(1) 医療提供の確保	
→	食物アレルギー対策の充実を図るため、県アレルギー疾患対策専門家検討会における専門医療機関の追加指定、専門医療機関とかかりつけ医の連携にかかる検討を踏まえ、平成26年度に追加指定等を実施する。 専門医療機関等指定状況（平成26年3月現在） 31 医療機関 80 診療科 4 医療機関 6 診療科の追加（予定）
(2) 情報提供・相談体制の確保（担当：櫻庭）	
→	学校・保健福祉事務所等食物アレルギー疾患患者と接する職員を対象とした実務的な研修（講習会）を充実し、講演会・講習会を実施 ・「ぜん息とアレルギーの基礎知識、緊急時エピペン講習会」（参加者 404 名） ・「子どものアレルギーとぜん息～予防と治療について」（参加者 89 名） ・「食物アレルギーとぜん息の基礎知識と日常生活における留意点」（参加者 42 名） ・アレルギー研修 「乳幼児期のアレルギー対応」（参加者 160 人） ・小児保健研修「食物アレルギーについて」（参加者 61 人）
→	相談実施 ・保健福祉事務所における保健指導教室等の集団指導 ・小児ぜん息、アトピー性皮膚炎に関する発作予防や食生活等、随時個別相談対応

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24 年度	H25 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 医療提供等の確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	平成 26 年 3 月現在、本県のアレルギー疾患専門医療機関等として 31 医療機関 80 診療科の指定を行い、1 つの二次保健医療圏を除くすべての保健医療圏で複数の医療機関を確保した。
評価理由	1 つの二次保健医療圏を除くすべての保健医療圏で複数の専門医療機関を確保しており、全国的にも最も進んでいるといえる。
今後の取組みの方向性	食物アレルギー対策強化の視点で充実を図っていく。

(2) 情報提供・相談体制の確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	講習会は、主に保健福祉事務所等における相談対応の職員を対象として実施してきたが、平成 24 年の東京都の小学校給食における食物アレルギーの死亡事故を踏まえ、学校、保育園等の職員も対象とするよう、開催回数、人数等の拡充を図るなど、概ね順調に取り組んでいる。
評価理由	喫緊の課題である、食物アレルギー対策の充実を図るため、講習会の充実を図るなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	食物アレルギーの講習会等について、所管部局である教育委員会、県民局とも連携し、さらに充実を図る。

4 総合評価

評価	評価理由
A	特に医療提供体制の確保について、他の都道府県に先がけ、アレルギー専門医療機関を確保し、さらに、喫緊の課題である食物アレルギー対策の視点で、医療提供体制の確保等に取り組んでおり、課題解決に向けて順調に進捗している。

5 特記事項

--